

二〇二四年度

入学試験（二次）問題

国語

- ・答えはすべて解答用紙に書きなさい。
- ・ぬき出し問題や記述問題では、句読点や記号も一字と数えること。

横須賀学院中学校

一 次の一―部について、漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直

しなさい。

- 1 世界を旅行してケンブンを広めた。
- 2 彼女はキシヨウの激しい人だ。
- 3 ウクライナは世界有数のコクソウ地帯だ。
- 4 アイデアを出し合い作戦をネる。
- 5 祖母直伝のレシピでカレーライスを作った。
- 6 お茶には解毒作用があるらしい。
- 7 大会への参加を強いる。
- 8 しっかりした友人を議長に推す。

二 次の1～4の(A)(B)には、それぞれひらがなで書くと同

じ一字の言葉が入ります。それをそれぞれ適切な漢字に直して
答えなさい。

- 1 努力が(A)を結んで試験に合格した。
相手の(B)になって考えなさい。
- 2 弟は冗談じょうだんを(A)に受けておこっていた。
遠足にお弁当を忘れるとは(B)がぬけている。
- 3 あまりの厳しい指導に選手たちは(A)をあげた。
口は悪いが(B)はやさしい人だとわかるはずだ。
- 4 彼は(A)の打ちどころのない人だ。
敗北は(B)を見るより明らかだ。

三 次の文の——部について、言葉の使い方が正しければ○を答

え、まちがっている場合は正しい表現に改めなさい。

- 1 夕食は済ませたが、アイスクリームならまだ食べられる。
- 2 気の置けない仲間だから、いっしょにいとくつろげる。
- 3 母は私のためにうでをならしてハンバーグを作ってくれた。
- 4 どうぞ、スープが冷めないうちにいただきます。

四 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

*1
ユネスコは二〇〇九年、現在六千から七千ほどある世界の言語のうち、約二五〇〇の言語が消滅の危機にあると発表しました。そのうちの八つが日本で話されている言語で、アイヌ語、八重山語、与那国語、八丈語、奄美語、国頭語、沖縄語、宮古語です。とりわけ深刻な危機に面しているのがアイヌ語で、すでに話者は数名しか残っていないと言われています。

言語が消滅の危機にさらされる事情は様々です。極端な場合、戦争などで話者が殺されて滅んでしまうという場合もあるでしょう。

I、植民地として宗主国の言語を強制され、自分たちの言語を禁じられて継承できなくなるということもあります。しかしそのように外からの力が加わった場合だけでなく、話者みずからがその言語を話さないことを選ぶことによって滅んでいく場合もあります。

日本でも明治以来、方言は標準語よりも低い地位に置かれ、恥ずかしいものであるという意識をうえつけられてきました。特にアイヌや沖縄の人々は就職などでも厳しい差別に直面したので、自分の言葉を隠し標準語を話そうとする圧力がはたらいたことでしょう。

社会的により高い地位をもつ言語を話せた方がその人の成功につながりやすいのは確かです。II、特に若い世代がより威信の高い言語に乗り換えたり、親が子どもに自分の言語を継承させなかつたりすることがあります。このようにして、地方の言語が衰退していくことになります。

国家の言葉になっていけば、国民がみなそれを学びます。日本語は日本の国語ですし、一億人の話者を数える、世界で「A」指に入ろうという大言語ですから、すぐに消滅する心配はないでしょう。しかし、英語との関係で見れば、全く安泰というわけでもありません。

現在、事実上の世界共通語は英語です。ビジネスでも政治でも学問でも、英語が使えなければ世界の人とわたりあつていけない。だから英語を勉強しなければだめだ、と大人にも言われるし、みなさんもそう思うでしょう。なかには、英語圏に生まれた人は何の苦労もなく身につけた言葉をそのまま使えるのに、自分は一生懸命勉強しなくてはいけないなんて不公平だ、と思う人もいるかもしれませぬ。III 現実には現実です。実際、社内の公用語を英語にする企業が出てきたり、一部の大学の講義が英語で行われたりしていま

す。そのぶん日本語が使われる機会は減っているわけです。この流れがどんどん加速していったら、ちょうど平安時代の漢文のように、公的なことにはすべて英語が使われて、日本語は**ブライベ**トトなおしゃべりにしか使われないという日が来るかもしれません。

ならばいつそのこと、³世界中の人がはじめから英語だけを覚えて使えばいいじゃないか、という意見もあります。それも

【B】理あるような気がしますね。日本でも小学校から英語を勉強するようになりました。もっと小さい頃ころから、国語を全部やめて英語をやるようにすれば、もっと楽に上手に話せるようになるかもしれません。でも、たとえみんな英語だけを使うようにしても、⁴世界中が全く同じ英語を使うようにはならないのではないかな、と思います。

今も、同じ英語圏であつてもイギリス英語とアメリカ英語とオーストラリア英語は発音や語彙ごいが異なりますし、インドやシンガポールもそれぞれに特徴的な英語が使われます。これ以外にも第二言語として英語を話す人々が世界中にいて、それぞれに自分の第一言語から影響えいぎょうを受けて、クセや特徴のある英語を話します。Englishesと複数形で呼ばれることもあるように、英語はもはや一つの言語と言いきれないほどのバリエーションdがあります。世界に広がれば広がるほど、じゆんずい純粋な形を保つことは難しくなります。

でもこれは無理のないことなんですよね。自然環境かんきやうが違い、社会のしくみが違い、文化や慣習が違う人たちは、違う言語を必要とするのです。それに、自分の考えや感覚にぴったりくる言葉を探し、それを親しい人と分かち合おうとする時、**IV**ほかの人にはわからない言葉で通じ合おうとするものです。みなさんも仲のいい友だちと、グループの中でしか通じない言い方をしたりしませんか。若者言葉を一生懸命マネしようとする大人はちよつと鬱陶うつとうしいと思ったりするでしょう。言語というものは、バリエーションが生まれていくことが自然なのです。

そうだとすれば、今ある言葉を全部やめて英語に統一してしまおうというのは、**【C】**。その土地の言語は、自然や文化と結びついた歴史を背負って存在していて、今生きている人たちの生活によって常に生まれ変わり続けています。一つの言語が消滅するということは、その言語が持っていた広がりおきりと奥行きのある世界がまると消えるということです。だから、多くの人が消滅の危機にある言語を何とかして守ろうとしているのです。

(仲島ひとみ他、共著『国語をめぐる冒険』ぼうけんより
ただし一部改変があります)

*1 ユネスコ……教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関。

*2 宗主国……植民地の内治・外交を管理する権力を持った国。

問一

Ⅰ Ⅳ にあてはまる最もふさわしいものを、次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい（同じ記号を二回使ってはいけません）。

ア、ところで イ、しかし ウ、たとえば
エ、むしろ オ、あるいは カ、そのため

問二

Ⅱ Ⅲ a、bの熟語について、同じ意味で使われている言葉を、それぞれ五字で文章中からぬき出しなさい。

問三

Ⅳ Ⅴ c、dのカタカナ語について、反対の意味で使われている言葉を、それぞれcは二字、dは四字で文章中からぬき出しなさい。

問四

Ⅵ Ⅶ A Ⅷ B にあてはまる漢数字をそれぞれ答えなさい。

問五

——1 「とりわけ深刻な危機に面しているのがアイヌ語で、すでに話者は数名しか残っていないと言われています」とありますが、このようになってしまった主な原因は何ですか。「〜こと。」に続くかたちで文章中から十字でぬき出しなさい。

問九

【C】にあてはまる最もふさわしい言葉を、次の中から選び、記号で答えなさい。

- A、今後に必要な不可欠な議論ではないでしょうか
- I、検討する価値のある極論ではないでしょうか
- ウ、これからの若者のための正論ではないでしょうか
- エ、あまり意味のない暴論ではないでしょうか

問六

——2 「全く安泰というわけでもありません」とは、どういうことですか。主語を補い、「消滅」という言葉を使って、二十字以内で簡潔に説明しなさい。

問七

——3 について、世界中の人がはじめから世界共通語である英語だけを覚えて使えばいいと考える理由が書かれている文を二つ探し、それぞれその最初の五字をぬき出しなさい。

問八

——4 「世界中が全く同じ英語を使うようにはならないのではないかな、と思います」とありますが、そのように筆者が思う根拠こんきよとして最もふさわしい一文を文章中からぬき出し、その最初の五字を答えなさい。

【五】 次の文章をよく読み、後の問いに答えなさい。ただし、最初に

書かれているリード文を参考にすること。

一度だけならどんな願いでも叶えてくれる神様「いっぺんさん」の話を祖母から聞いた私（うっちん）は、友人（しーちゃん）と「いっぺんさん」が祀られている祠を探しに出かけることにする。そして、かつて祖母が住んでいた袴須という遠い村に二人で向かうが、正確な祠の場所を知らなかったので道に迷ってしまう。しかし、ある一人の老人に案内をしてもらい、なんとかたどりつくことができた。

「でも袴須なんて、どうやって行くんだよ。今はもう、バスも通ってないんだろ」

「決まってるじゃないか、自転車だよ」

「自転車であって……ものすごく遠いんだろ？」

「大丈夫だよ。それで願い事が叶うなら、安いもんじゃないか」

今から思えば、確かに I 話だった。

けれど子供の頃というのは、自転車さえあれば、どこにでも行けるような気がしていたものだ。特に私はその一ヶ月ほど前に、新

しい自転車を手に入れたばかりだった。十段変速ギアが付いたドロップハンドルのサイクリング車で、長い間ねだって、ようやく誕生日に買ってもらったのだ。実を言うとこの時の私には、その自転車の性能を試してみたい……という気持ちの方が強かった。

そうとは知らないしーちゃんは、私の言葉に目をしばたいた。がさつそうな見かけによらず、彼は案外に感激屋なのだ。

「ありがとう、うっちん。やっぱり友だちっていいもんだな」

その言葉に、私は少し後ろめたいものを感じたけれど、本当にしーちゃんの夢が叶えばいいという気持ちも、やはり心のどこかにはあったのだ。

（中略）

「うっちん、そのいっぺんさんがどこにあるのか、ちゃんと知ってるんだろ？」

出発前に聞かれたが、私自身行ったことがないので、II 答えしかなかった。祖母から何となく場所は聞いていたが、正確

に把握はあくしているわけではない。袴須まで行けば、どうにかなるだろうと思っていたのだ。

「とにかく出発、出発！」

私が差し出した掌てのひらをしーちゃんが拳こぶしで叩たたき、彼が差し出した掌を私が叩いて、私たちは十二月の風の中を小さな旅に出た。

時間が流れた今、その冒険ぼうけんは美しいきらめきの中にある。

どれだけの道のりが待っていたかも知らず、ただ勢いだけの

Ⅲ 気持ちに支えられていた。地図で調べた直線距離きょりが思ったより近かったことも、私たちが呑気のんきにさせた一因だ。

だが実際は、まさしく苦行とも呼べるような道のりだった。その大半が、起伏きふくに富んだ山の中だったからだ。大人になった今なら、同じ道を自転車で走ろうとは絶対に思わない。あれは本当に、子供だからできた芸当うでだったのだと思う。

町の中を走っている間は快調そのものだった。背後を走るしーちゃんの自転車の音が耳障りみみざわだったが、しばらく聞いていよううちに、私はその音に合わせてペダルを踏むようになった。まるでしーちゃんと同じ自転車を漕こいでいるような気がして、不思議と楽しく感じたものだ。

3 山に入ってからが大変だった。町の中とは寒さが違ちがっていて肌はだを刺す冷気の中に小さなガラスの芯しんがあるように思えた。私もしー

ちゃんも薄うすっぺらなジャンパー姿だったので、その冷気はこたえた。

途中とちゅう、小さな屋根のあるバス停のベンチに腰こしを下ろして、私たちは家から持ってきたお弁当を食べた。その路線はとくに廃止はいしされていて、バス停の看板は錆さびにまみれ、何bと言う名前なまえの停留所ていりゅうじょなのかさえわからなかった。

「外で食べると、何でもうまいなあ」

そう言いながらしーちゃんは、アルミの弁当箱にご飯を詰め、海苔りを敷しいて醤油しょうゆをかけただけのお弁当を食べていた。夜遅くまで働おそいている母親を起こすのが悪くて、自分で作ったのだと言っていた。

「ところでさあ……俺おれは白バイのお巡りまわさんになれますようにって頼たのむつもりだけど、うっちは、どんなことを頼たのむんだい」

とりあえずは野球選手になれますようにと頼たのむつもりだったが、実はまだ、はっきりとは決めていなかった。ウルトラマンになれるように頼たのんだら、どうなるかな……などと考えてさえた。実際、その時の私には、はっきりとした夢も希望もなかったのだ。

A 私が言葉を濁すと、しーちゃんはどこか悲かなしげな目で言った。

「いいなあ、うっちは……実は俺、本当はもう一つ、お願いしたいことがあるんだ」

「ちえつ、欲張りだな。どんなお願いだい？」

「教えてもいいけど、笑わないか？」

私がうなずくと、しーちゃんは照れ臭^{くさ}そうに眩^{つぶや}いた。

「俺、早く大人になりたいんだ」

「何で？」

「ほら、大人になったら、父ちゃんが暴れても、母ちゃんや弟たちを守ってやれるだろう？ だから、早く大人になりたい」

変な願い事だったら思い切り笑ってやろうと準備していた私は、口をつぐむしかなかった。彼はきつと、ごく当たり前に生きている私なんかより、子供の無力をずっとずっと深く噛^かみしめていたに違いない。

5 母に作ってもらったお弁当をじつと眺^{なが}めながら、私は考えた。

「じゃあさ、その二つを一緒^{いっしょ}にしちゃうっていうのはどうだ？ 早く大人になって、白バイのお巡りさんになりたいって頼むんだよ。それだったら、ちゃんと一つじゃないか」

「なるほど！ うっちゃん、頭いい！」

その時のしーちゃんの輝^{かがや}いた顔は、今でも忘れることができない。

(中略)

「お前ら、どう聞いてきたかは知らんけど、ちゃんとお願いのやり方、知つとるんかあ？」⁶

道すがら、老人は何度も振り返りながら言った。私たちと話すのが楽しくてたまらないように、皺^{しわ}くちなな笑^えみを絶やさなかった。

「ポンポンと手え打ってお願います…：だけじゃ、あかんのだぞ。石を持って行かんとな」

「石？」

「そうだ。まずな、祠に着いたら、いっぺんさんにお参りするんじゃが、そんな時にな、自分の願い事を叶えてくださいって頼むんだ。どんな願い事かは、そんな時は言わんでええ。その後、祠のそばをな、どこでもええから掘^ほり起こすんだ。いっぺんさんがお前らの願いを聞いてくれるんなら、白くてきれいな石がきつと見つかる。それを家に持って帰って、誰^{だれ}にも見せねえように袋^{ふくろ}に入れて、ずつと持つてる。それで毎日、その石が神様だと思って、自分の望みをお願りするんだ。そしたらいつか、必ず叶うから…：ただし、いっぺんだけなあ」

その話を聞いて、私は少しがっかりした。いっぺんさんなんて、いかにもな名前なのだから、一度お願いするだけで何でも願いが叶えられるのかと思っていたのだ。案外手間がかかる。

「おじいさん、もし、石が見つからなかったらどうするの？」

少し興Bざめな気分になった私とは違って、シーちゃんはむしろ、

「 7 」。

「それは、まあ、今はまだ縁えんがなかったちゆうことだなあ」

そうやって老人は、どこか底意地の悪そうな目で私を見て笑った。

やがて私たちは、山の斜面しゃめんに接した茶色い森の前に来た。

(中略)

私たちは森の中の道を、一列になって歩いた。かなり深い森で、

太陽の光があまり届かず、ひどく陰気いんきな感じがした。

Ⅳ 方向

に進んだら、そのまま遭難そうなんしてしまいそうだった。

「うっちゃん、祠ほらって、あれじゃないの？」

私がいぶん心細くなり始めた頃、先を歩いていたシーちゃんが言った。彼が指さす方向を見ると、森の中にポツリと、その祠はあったのだった。

(朱川湊人『いっぺんさん』より

ただし一部改変があります)

問一

Ⅰ) Ⅳ) にあてはまる最もふさわしいものを、次の

中からそれぞれ選び、記号で答えなさい(同じ記号を二回使ってはいけません)。

ア、あやふやな イ、うかつな ウ、突飛とっぴな

エ、無茶な オ、迷惑めいわくな カ、積極的な

キ、楽天的な ク、悲観的な ケ、おろかな

問二

~~~~~ a ~~~ c について、その語句中にある「さえ」のうち、次の文中の「さえ」と同じ意味で使われているものを一つ選び、記号で答えなさい。

あなたが無事でさえいてくれれば、他には何もいりません。

### 問三

——1「しーちゃんは、私の言葉に目をしばたいた」とありますが、この時のしーちゃんの心情として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、そんな遠くに自転車で行けるはずがないのに、自分たち子供だけで出かけようと真剣しんけんに考えている「私」に対して、あきれると同時におどろきをかくせなかった。

イ、実は、「私」が新しい自転車を買ってもらい、その性能を試そうとしていることに感じてはいたが、そのことには気づいていないふりをしないとかわいそうだと思うた。

ウ、友だちの夢を叶えるために、そんなに遠くまで行こうとしてくれている「私」のやさしさが信じられないほどうれしかった。

エ、袴須は、とても遠い所だということだけはわかっているが、これから「私」と二人だけで旅に出ると思うと、不安と期待でいっぱいだった。

### 問四

——2「子供だからできた芸当だった」とはどういうことですか。最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、子供だからこそ練習と訓練をくり返して達成できた技だということ。

イ、運動能力の高い子供だからこそ乗りこえられた苦行だということ。

ウ、大人になれば苦行から上手にのがれることができるということ。

エ、本当の危険や困難を知っている大人にはできない行動だということ。

### 問五

——3「山に入ってからが大変だった」とありますが、その具体的な原因として考えられるものを二つ、文章中よりそれぞれ漢字二字でぬき出しなさい。

問六 〓 A・Bの言葉の意味として最もふさわしいものをそれぞれ

ぞれ選び、記号で答えなさい。

A 「言葉を濁す」

ア、はっきりしたことを言わない

イ、迷っていろいろなことを言う

ウ、話題を変える

エ、冗談じょうだんを言ってはぐらかす

B 「興きょうざめな気分」

ア、腹立たしい気持ち

イ、夢から覚めるような気持ち

ウ、つまらない気持ち

エ、泣きたい気持ち

問七 〓 4 「しーちゃんはどこか悲しげな目で言った」とありま

すが、それはなぜですか。最もふさわしいものを次の中から  
選び、記号で答えなさい。

ア、夢や希望を持つことができない「私」をかわいそうに

思ったから。

イ、ウルトラマンになりたいなどと真面目に願ねがい事を考えて

いない「私」にがっかりしたから。

ウ、「私」と違って野球選手になる可能性などない自分を情

けなく思ったから。

エ、現状に満足し、何も願ねがいすることがない「私」をうら

やましく思ったから。

問八 〓 5 「母に作ってもらったお弁当をじっと眺めながら、私

は考えた」とありますが、「母に作ってもらったお弁当」に  
象徴しょうちゆうされているものは何ですか。文章中から十三字でぬき

出しなさい。

問九 〓 6 「お願いのやり方、知つとるんかあ」とありますが、

「お願いのやり方」が説明されている部分だけを正確にぬき  
出し、最初と最後の五字を答えなさい。

問十 一 7 一 にあてはまる最もふさわしい言葉を次の中か

ら選び、記号で答えなさい。

ア、その手間に真実味を感じたようだった。

イ、そのくわしい説明に動揺どうようしたようだった。

ウ、その石に現実味を感じられなくなった。

エ、その石に執着しゅうちやくし始めたようだった。

問十一 この文章の「私」についての説明として、最もふさわしい

ものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、祠ほまで案内し、お願いのやり方まで教えてくれたおじい

さんと、親友のしーちゃんとの出会いを懐なつかしく思い出

し、楽しかった自転車の旅を回想している。

イ、子供の頃の小さな旅を回想し、決してめぐまれていると

は言えない家庭環境かんきやうの中で、けなげに生きようとしてい

た親友のしーちゃんを思い出し出している。

ウ、子供のころの無鉄砲むてっぽうで大胆だいたんな夏の冒険を回想し、苦しい

ことも楽しいことも一緒に経験した親友のしーちゃん

ことを今でもいとおしく思い出している。

エ、かけがえのない友だちだったしーちゃんを、新しい自転

車の性能を試すただけに、苦行とも呼べるような旅に

連れ出してしまったことを今でも心から後悔こうかいしている。

六 次の先生と生徒の会話を読んで、後の問いに答えなさい。

生徒A：ニュースで、新しい地質時代「人新世（じんしんせい）、または、ひとしんせい）」ができるかもしれないと聞きました。そもそも地質時代とは何ですか？

先生：地球ができてからの四十六億年を、地質に残る特徴とくちょうに応じて区分した呼び方のことです。中生代のような大きな区分「代」があり、その下にジュラ紀などの「紀」があります。さらに「世」「期」と細かく分かれます。

生徒B：現在は「新生代・第四紀・完新世・メガラヤン期」ですよ。でも、<sup>1</sup>どうして地質時代を分ける必要があるのですか？

先生：地層や化石を調べれば生物の進化や絶滅ぜつめつ、地殻ちかくの変動など過去の地球の出来事を知ることができます。地球の歴史をひもとくことは、現代の自然現象を理解することにも役立ちます。ただ長い地球の歴史を議論ぎろんするためには、共通の言語が必要です。そこで生物相や環境かんきょうの変化などに応じて年代の境界を決めました。現時点で百以上の地質時代に区分ぶんされています。

生徒A：<sup>2</sup>新しい地質時代「人新世」ができるということは、以前と

は違う新しい地層が発見された、ということですよ？

先生：そうです。国際地質科学連合はそれぞれの地質時代に対して地球上から一か所、その根拠こんきよを示した地層を「国際標準模式地」に選んでいます。多くは欧州おうえう（ヨーロッパ）にあります。日本では二〇二〇年に千葉県市原市の地層が初めて模式地として認定されました。七十七万四千年前しちじゅうしちばんねんより二万九千年前の地質時代は「更新世こうしんせい・チバニアン（千葉の時代）期」と命名されたのです。

生徒B：人新世の場合はどこが模式地で、以前の地層とどのような違いがあるのですか？

先生：カナダ南部のクロフォード湖という小さな湖が提案されています。湖底に積たもった堆積物たいせきぶつでは、一九四〇年代後半からプルトニウムなどの核実験かくじけんによる放射性物質が検出され、一九五〇年代になると化石燃料を燃やすことで生じるブラックカーボン（すす）が急増きゅうぞうしていることがわかっています。

生徒A：日本の大分県おおいちけんの別府湾べつふわんも最後まで模式地の候補にあがっていたとニュースで報道ほうどされていましたよ。

先 生…別府湾でも海底の地層から一九五〇年代に放射性物質が急増しており、一九六〇年代後半からはマイクロプラスチックが検出されるなど、世界各地で同時期に人類の痕跡こんせきが確認できたことが、人新世を提案する重要な根拠になっています。

生徒B…では、一九四〇年代後半から、「3」でなく「人新世」に変わるといいますか？

先 生…まだ決定したわけではありません。これまでの地質年代は、主に巨大隕石きょだいいんせきの衝突や地殻変動などによってもたらされた環境や生物相の変化で区分されてきました。人間活動の影響えいきょうがそれに匹敵ひつてきするほどの変化として位置づけられるのか、まだ意見は分かれています。

(参考 『朝日新聞』二〇二三年七月十三日朝刊)

\*1 生物相…一定の地域内に生育する生物の全種類。

問一

——1「どうして地質時代を分ける必要があるのですか」とありますが、その直接の理由として最もふさわしいものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、地層や化石を調べることが、現代の自然現象を理解するために必要だから。

イ、現代の自然現象を理解するために、地球の歴史をひもとくべきだから。

ウ、地球の歴史を議論するためには、共通の言語が必要だから。

エ、地球の歴史を知るためにも、「国際標準模式地」を選ぶ必要があるから。

問二 — 2 「新しい地質時代『人新世』」とありますが、これに

ついて次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 「人新世」と関係のないものを、次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア、地殻変動    イ、化石燃料    ウ、生物の絶滅  
エ、核実験    オ、マイクロプラスチック

(2) 「人新世」について書かれた次の文の(    )に最もふさわしい言葉を、会話文より七字でぬき出しなさい。

新しい地質年代「人新世」は、これまでと違って、

(    ) 七字    (    ) を根拠として地質年代を区分しようと  
しているため、まだ正式に認められてはいない。

問三 [ 3 ] にあてはまるものを、次の中から一つ選び、記号で

答えなさい。

- ア、ジュラ紀    イ、新生代  
ウ、完新世    エ、チバニアン期

七

みなさんが小学3年生から5年生だった約3年間、新型コロナウイルスの感染拡大によって私たちの生活は様々な制限を受け、変化をしました。それは学校生活でも同じだったと思います。そのような生活を通して、あなたが感じたこと、思ったこと、考えたこと、学んだことの中からテーマを一つにしぼり、百五十文字以内でまとめなさい。